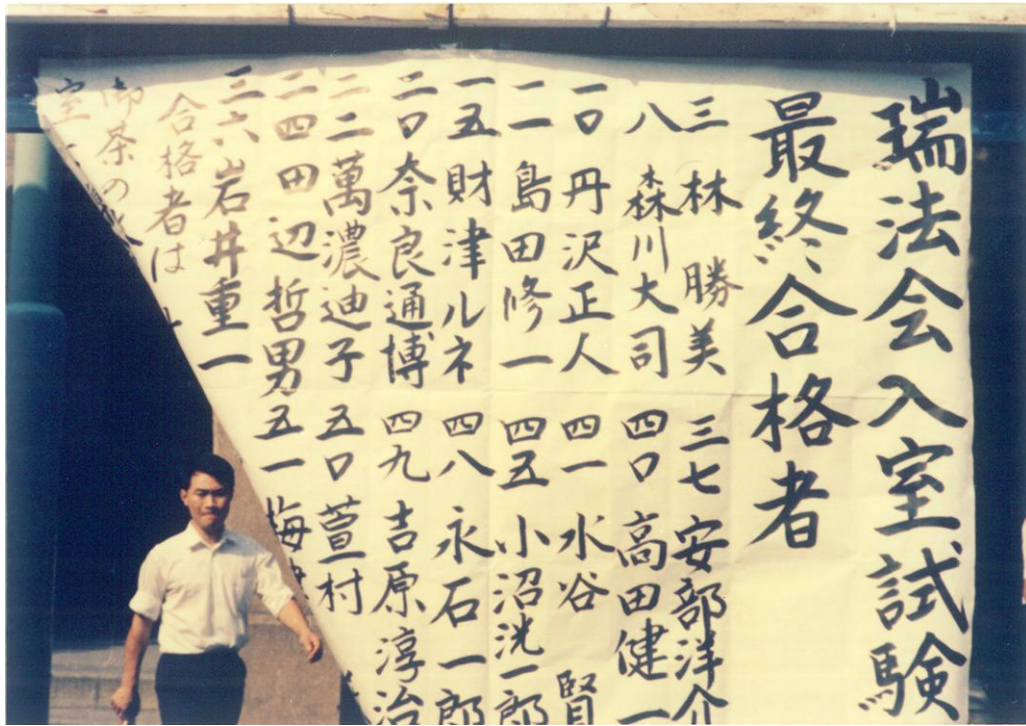


林勝美 中央大学 瑞法会研究室時代



中央大学学術研究団体連合会「瑞法会研究室」昭和42年(1967年)入室(第55期)

瑞法会研究室は、1936年の創立から現在まで長い歴史を有し、これまで、弁護士、裁判官、検察官等を法曹界に送り出した数は、約500名にのぼります。当研究会からは2名もの高裁長官(仙台高裁長官一宮なほみ氏(58期・昭和45年入室)、札幌高裁長官合田悦三氏(64期・昭和51年入室))の就任を見ており、後輩への大きな励みになっています。写真は、入室試験最終合格発表の掲示(右端上段に林勝美の名前)ですが、35倍の難関を乗り越えて、夜間部から入室を許されたのは、私(林勝美)一人でした。



「瑞法会研究室」昭和42年(1967年) 第55期入会式

立って挨拶されているのは、花井忠会長(元検事総長)です。
中央右から3人目学生服が私(林勝美)です。同右端は、
岩井重一弁護士(平成16年度東京弁護士会会長)です。